

水道だより

令和7年度(2025年度)から

水道料金を改定します

目次 - Contents -

- 01 水道事業の取組(現状と課題)
- 02 事業の継続に向けて
- 03 未来につなぐ取組
-和歌山市水道ビジョン2024-
- 04 住民説明会について
- 05 料金改定の内容



オンライン
申請

QRコードから
水道に関する
手続きができます

使用開始



使用中止



使用者変更



納付書の送付先変更



編集・発行

和歌山市企業局 経営管理部 企業総務課
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
Tel: 073-435-1124 Fax: 073-435-1280

和歌山市企業局



「蛇口を捻れば水が出る」

和歌山市企業局では、主に2つの

①安心・安全な水道水をご家庭まで送るための事業

川の水を飲めるようにして、多くの施設を管理・運営し、ご家庭まで水道水を届けます

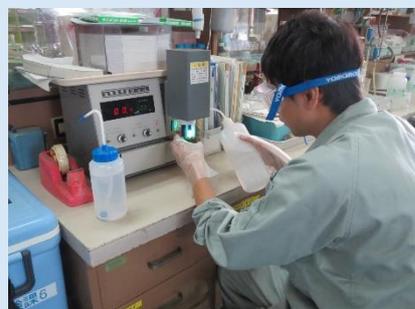
例えば・・・



浄水場の点検



漏水修繕



水質試験

など

独立採算制による事業運営(地方公営企業法第17条の2)
 水道料金を主たる収入として独立採算により事業運営を行っています

料金収入の減少が続いており、このままでは令和10年度(2028年度)における累積赤字が約**21.0億円**となり、事業運営が成り立たなくなります

安心・安全な水道水をご家庭まで送るための収入と支出の見通し

(単位:億円)

	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
収入合計	70.0	68.5	68.1	67.7	67.5
うち料金収入	62.5	62.0	61.6	61.2	60.8
支出合計	70.4	71.1	72.6	73.6	75.1
うち経費	66.9	67.5	69.1	70.1	71.5
単年度純損益(収支差引)	△ 0.4	△ 2.6	△ 4.5	△ 5.9	△ 7.6
累積赤字	△ 0.4	△ 3.0	△ 7.5	△ 13.4	△ 21.0

令和6年度(2024年度)に赤字が発生

その日常を守るために

事業に取り組んでいます



②古くなっている施設や水道管の更新・耐震化をする事業

水道水を送るための多くの施設などを計画的に更新を行い、安定給水を確保します

例えば・・・



加納浄水場の更新工事

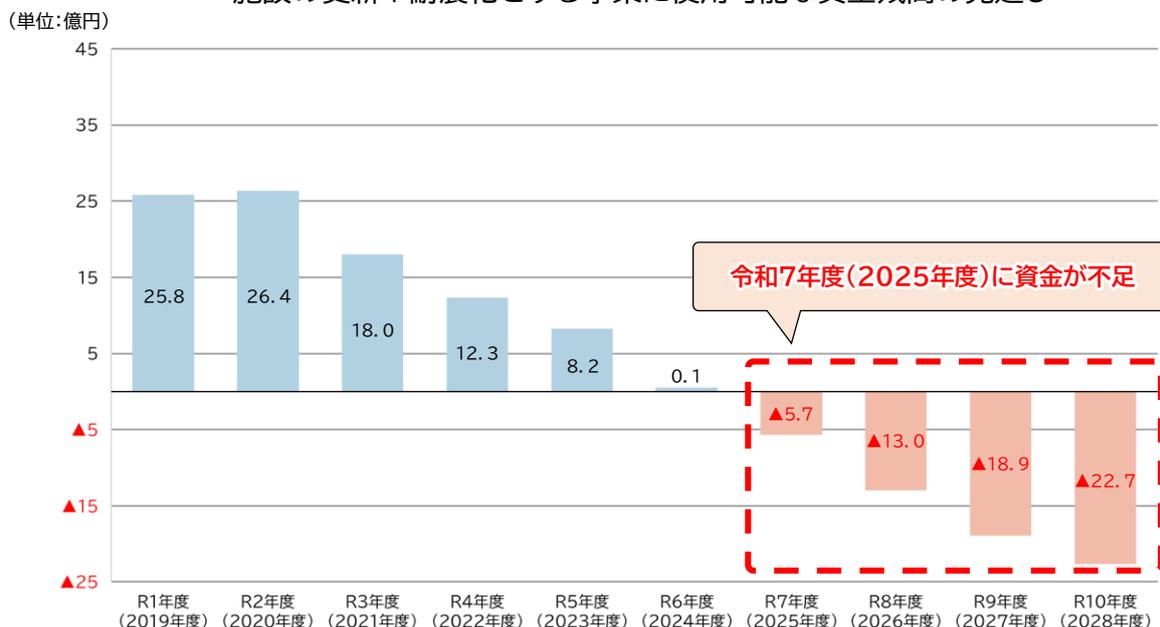


配水管布設替工事 など

企業債、出資金、負担金、補助金の活用に加え、保有している資金を活用して事業運営しています

令和7年度(2025年度)から資金不足が発生するため、このままでは、令和10年度(2028年度)における累積不足額が約**22.7億円**になります

施設の更新や耐震化をする事業に使用可能な資金残高の見通し



和歌山市の水道料金は、平成10年(1998年)2月に改定し、26年間据え置いてまいりました。しかしながら、人口減少や節水機器の普及に伴い、水道料金収入は減少を続け、費用面においては、動力費や薬品費の高騰に加え、施設の維持管理に必要な労務単価の上昇などにより、継続的な事業運営が困難な状態となっています。

和歌山市企業局では、これまで業務の委託化など人件費の削減や効率的な運営に努め、可能な限りコストの削減を行ってまいりましたが、今後は、災害に備え、水道管などの耐震化により、施設の強靱化を加速化する必要があります。ご使用者の皆様におかれましては、安心・安全な水道水をお届けするために水道料金の改定をお願いするものです。

水道料金改定検討の経過

01 和歌山市水道ビジョン2024 (P.5)

水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価し、和歌山市企業局の方向性を示す理想像を掲げ、具体的な施策を定める新水道事業ビジョンの検討を進めてきました。



詳しくはQRコードからアクセス

02 和歌山市新水道事業ビジョン水道料金検討会議(全3回開催)

今後の施策の実現、適正な水道料金を含めた事業運営などに対して、学識経験者や水道使用者の代表者の方々からご意見をいただくために、「和歌山市新水道事業ビジョン水道料金検討会議」を立ち上げました。会議では、和歌山市企業局が示した方向性に対し、幅広いご意見をいただき、一般の方々にも傍聴いただくなど、透明性を高め、料金制度について検討を行いました。



詳しくはQRコードからアクセス

03 住民説明会の開催 (P.6~7)

「和歌山市水道ビジョン2024」や「和歌山市新水道事業ビジョン水道料金検討会議」の内容を踏まえ、現在の経営状況やこれまで行ってきた経営努力、今後行う施策や料金制度について市民の方々にご理解いただけるよう住民説明会を開催しました。



詳しくはQRコードからアクセス

04 和歌山市議会への提出

令和6年(2024年)9月定例会市議会に「和歌山市水道事業給水条例の一部を改正する条例」を提出し、可決されました。

03 未来につなぐ取組

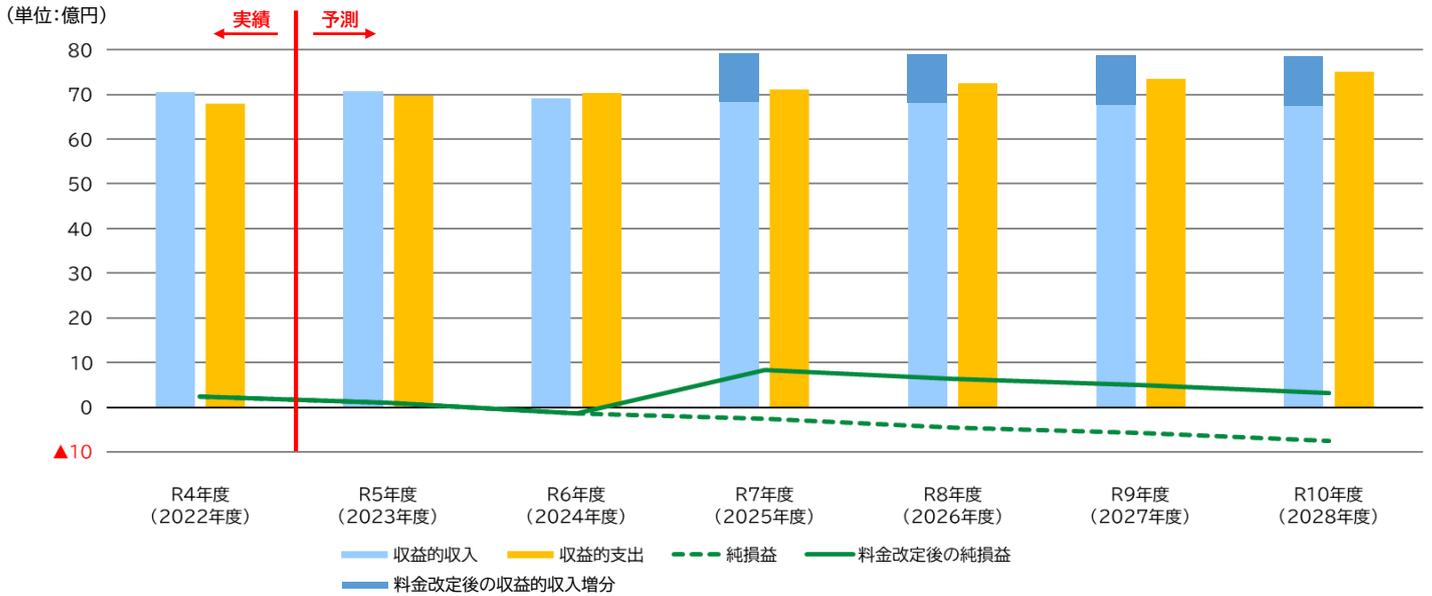
- 和歌山市水道ビジョン2024 -

【お問合せ先】

経理課 ☎ 435-1125

水道企画課 ☎ 435-1127

収益的収入・支出及び純損益の見込み



料金を改定させていただくことで、未来につなぐ水道事業の取組を進めます

主な取組

加納浄水場の更新



加納浄水場

- ・平成21年度(2009年度)更新事業着手(現在)
- ・耐震化や施設能力の増量更新中
- ・施設規模153,000㎡
- ・主要構造物耐震化率35.9%
- ・令和20年度(2038年度)完了予定

管路の更新



管路の更新状況

- (現在)
- ・0.5%程度(約7.7km)
- [更新率のペースアップ]
- ・令和7年度(2025年度)から0.7%程度(約10.8km)予定

送水管の複線化



送水管の複線化イメージ

- ・令和5年度(2023年度)事業着手
- ・六十谷浄水場(工業用水道)
- ・六十谷水管橋
- ・【紀の川橋筋部送水管】複線化予定
- ・令和9年度(2027年度)完成予定

北部新浄水場の建設



浄水場整備イメージ

- ・施設規模 28,000㎡/日
- ・令和10年度(2028年度)設計着手
- ・六十谷浄水場を活用することなどで事業費の低減



令和6年(2024年)3月策定

- ・和歌山市水道ビジョン2024は、『安心を未来につなぐ 元気わかやま水道』を基本理念に、本市が目指す50年後の理想像を見据え、その実現に向けた今後の10年間に実施する施策を示しています。
- ・市内全域の安定供給と水道施設の老朽化・耐震化対策などを『安全』『強靱』『持続』の3つの観点で取り組みます。

「和歌山市水道ビジョン2024」は和歌山市のホームページでご覧いただけます



詳しくはQRコードからアクセス

04 住民説明会について

【お問合せ先】
経理課 ☎ 435-1125

これまでの経営状況、今後の事業の進め方や新たにご負担いただく水道料金改定案を詳しく説明させていただくため、住民説明会を開催しました

令和6年(2024年)8月6日～11日
市内8か所で開催（コミュニティセンター7か所、市役所）

延べ231人の方々にご参加いただきました
アンケートもあわせて実施 回収率90.5%(209人/231人)



和歌山市役所での説明会の様子

I これまでの水道事業について

説明内容

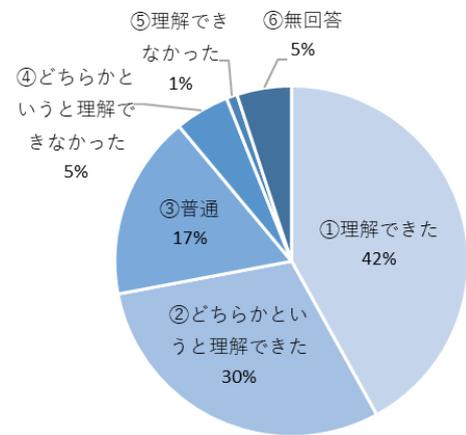
- ・実施している業務内容(水道水の供給事業、施設更新、事業運営(独立採算制))
- ・管理・運営している施設の現状(老朽化、耐震化)
- ・水道事業の課題(施設の老朽化対策、施設の災害対策、事業運営・継続)

主なご質問・ご意見

Q なぜ独立採算制か。市からの繰入や税金で対応できないのか。

A 地方公営企業法で、「経費の負担の原則」が規定されているためです。ただし、基準内の繰入は既に受け入れており、補助金を含め、基準の拡大は今後も要望していきます。

- そもそも生きていくのに必要な水に独立採算制はそぐわないと考える。一般会計から繰り入れできない点が理解できない。
- 今回の料金改定はやむをえないと思うが、水道事業、安全安心な水を市民に提供するためにはそれなりの費用がいる。独立採算制では難しいであろうかと思う。税の導入も必要では。
- 税金でやるのはおかしい。受益者負担で行わないと、使い放題になる。また、税金で対処すると税金が上がることになる。



アンケート結果

II 今後の事業計画について ～和歌山市水道ビジョン2024～

説明内容

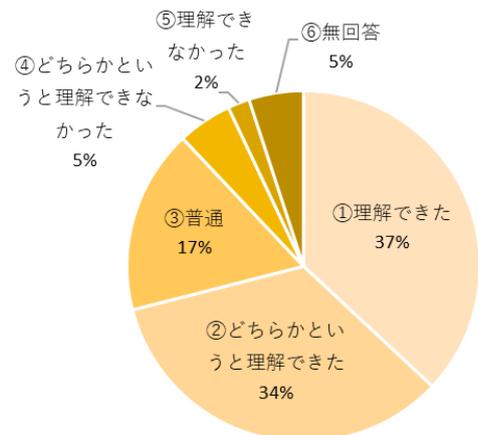
- ・水道施設全体の在り方
- ・将来像を実現するために行う主な事業
(加納浄水場更新・管路更新・送水管複線化・北部新浄水場・配水池耐震劣化対策及び配水区域再編)

主なご質問・ご意見

Q 使用水量は減少する見込みなのに、浄水能力を増やしているのはなぜか。

A 浄水場の統廃合により施設規模の縮小を考えておりましたが、六十谷水管橋の崩落を受けて、北部地域の安定供給に向けリダンダンシーの観点から「新浄水場建設」を計画したことで、全浄水能力は増加する計画となっています。

- Q 施設の耐震化について、どの程度の地震を想定し、対応しているのか。また、管路についても、どの程度の地震に耐えられるのか。
- A 南海トラフ巨大地震と中央構造線地震への対応としています。管路についても、能登の地震において、現在和歌山市で使用している耐震管のGX管は、被害が無かったとの報告を受けています。
- 北部新浄水場の建設を早急に進めること。
 - 北部浄水場は過大な施設だと思う。稼働率が低くなり、無駄である。加納浄水場だけで十分である。



アンケート結果

Ⅲ 事業運営について

説明内容

- ・ これまでの料金収入、経費削減対策や資金残高の状況
- ・ 今後の料金収入、収支見通しや不足する料金収入
- ・ 水道料金の和歌山県内比較

主なご質問・ご意見

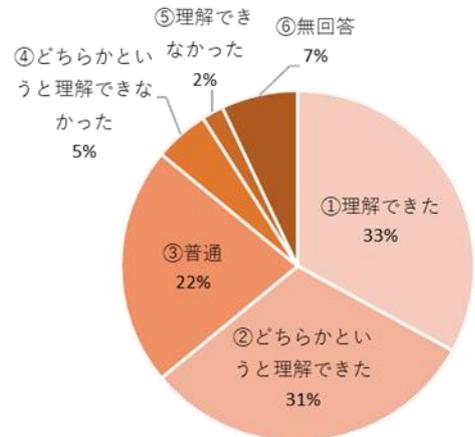
Q 資金が減少に転じた理由及び近年の資金減少幅が大きい理由は。

A 平成22年度（2010年度）以降の資金減少は、料金収入の減少から、必要利益の確保までは行えず、投資に対して、留保資金を使用せざるを得なくなったことによるものです。また、近年の資金減少割合が大きいことについては、料金収入の減少に加え、動力費等の高騰により、利益が減少し、投資に対する留保資金の使用が大きくなっているためです。

Q 使用水量が減少している理由と将来の人口予測の見込みについて説明してください。

A 水量の減少は人口減少と節水機器の普及によるものと考えています。予測の人口は市の人口ビジョンを基にして見込んでいます。

■水道料金比較表が和歌山県だけの参照なので、少し疑問です。大阪市や名古屋市なども加えてほしいです。



アンケート結果

Ⅳ 水道料金改定案について

説明内容

- ・ 水道料金の原則と料金体系検討の主な視点
- ・ 水道料金改定案とそれに基づく料金試算

主なご質問・ご意見

Q なぜ、今、料金改定なのか。もっと前に分かっていたのではないか。

A 平成30年度（2018年度）に策定した「和歌山市水道事業経営戦略」においても、令和6年度（2024年度）の赤字発生、令和7年度（2025年度）の資金不足が生じる見込みでありましたが、「水道ビジョン2024」での投資に対するシミュレーションにおいても同様の試算結果となったため、今回の改定に至っております。

Q 今後の値上げの予定はどのように考えているのか。

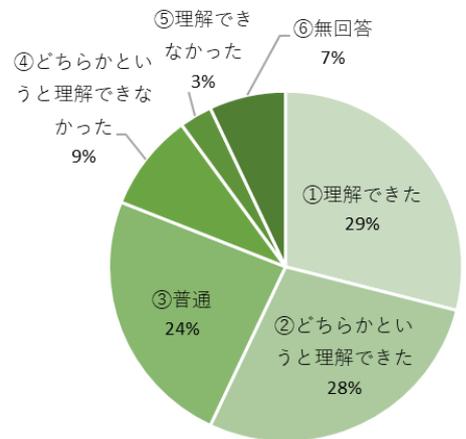
A 今回の料金改定は、算定期間を令和7～10年度（2025～2028年度）の4年間としています。現時点における今後の見通しとしては、令和11年度（2029年度）にも、料金改定が必要となる見通しとなっています。

< 容認 >

■電気代が高騰しており、水道は電気も多く使うなか、値上げはやむを得ない。安全・安心な水道を展開して欲しい。

< 反対 >

■改定が必要とは思いますが、これだけ生活も(様々な値上げ)大変な中で今値上げは正直厳しいと思います。



アンケート結果

その他のご質問・ご意見

< 公共下水道事業について >

Q 今回、下水道料金は値上げするのか。

A 今回は水道料金の改定を行うもので、下水道料金については、その影響を受けません。

■下水道と水道は異なるのか（道路の掘り返し等、別々にせず一緒にやっていただきたい）。 ■下水道使用料金が高すぎる。

< 民営化・広域化について >

Q 民営化についてどう考えているのか。

A 今後も、水道事業認可の業務は企業局で保持し、主体性を持ち事業運営を行います。現段階では、給水責任がなくなるような民営化は考えていません。

■広域化はせず民営化もしいよう願います。

ほかにも多くのご質問・ご意見をいただきました。ご参加ありがとうございました。

和歌山市のホームページで、住民説明会の資料やご参加された方々からいただいたすべてのご質問・ご意見をご覧いただけます。

詳しくはQRコードからアクセス →



05 料金改定の内容

【お問合せ先】
水道料金センター ☎ 435-1298

改定後の水道料金表(2か月分・税込)

口径・用途	基本料金		従量料金(1㎡につき)					
			第1段	第2段	第3段	第4段	第5段	第6段
13mm	1,958 円	(+418 円 0 銭)	1㎡~20㎡ 25円30銭 (+3円30銭)	21㎡~40㎡ 173円80銭 (+19円80銭)				
20mm	2,816 円	(+616 円 0 銭)						
25mm	4,620 円	(+1,540 円 0 銭)	1㎡~40㎡ 173円80銭 (+19円80銭)		41㎡~60㎡ 204円60銭 (+23円10銭)	61㎡~100㎡ 247円50銭 (+27円50銭)	101㎡~200㎡ 310円20銭 (+35円20銭)	201㎡~ 409円20銭 (+46円20銭)
40mm	11,990 円	(+4,290 円 0 銭)						
50mm	20,790 円	(+6,270 円 0 銭)						
75mm	45,760 円	(+16,280 円 0 銭)						
100mm	79,310 円	(+32,230 円 0 銭)						
150mm	184,690 円	(+83,490 円 0 銭)						
200mm	315,150 円	(+169,950 円 0 銭)						
公衆浴場用	300㎡ まで	20,732 円 80 銭 (+3,132 円 80 銭)	301㎡以上 84円70銭(+13円20銭)					
特殊用	40㎡ まで	18,660 円 40 銭 (+2,820 円 40 銭)	41㎡以上 609円40銭(+92円40銭)					

※ ()内は現行料金との差額

※ 和歌山市内で最もご使用が多いのはメーター口径**13mm**で、2番目に多いのが**20mm**となります。

※ **口径、使用水量に応じた料金早見表**は、和歌山市のホームページでご覧いただけます。



詳しくはQRコード
からアクセス

※ **下水道使用料につきましては、新たな負担はございません。**

料金の適用時期

年	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)				
	12月	1月	2月	3月	4月	5月
検針	改定前の料金				改定後の料金	

4月1日適用

※ 料金改定は、令和7年(2025年)4月1日以後の検針分から適用されます。